

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京リゾートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会体育 専門課程	スポーツインストラクター科		188 単位	6 単位	
	アスレティックトレーナー科		157 単位	9 単位	
	スポーツトレーナー科		186 単位	6 単位	
	スポーツ保育科		104 単位	9 単位	
	スポーツビジネス科		104 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京リゾートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R2.4.1 ~ R6.3.31	法務
非常勤	公認会計士	R2.4.1 ~ R6.3.31	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京リゾートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p> <p>原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。</p> <p>公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度4月を目途とする)</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/school_information.pdf">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/school_information.pdf</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/school_information.pdf">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/school_information.pdf</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。  なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/school_information.pdf">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/school_information.pdf</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京リゾートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		社会体育専門課程	スポーツインストラクター科（旧健康スポーツ科）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間 / 単位	125 単位	6 単位	17 単位	0 単位	51 単位
		199 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		200 人	1 人	6 の内数人	11 の内数人	17 の内数人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準

(概要)  
 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

<目指すべき人材像>  
**【スポーツインストラクター科】**  
 インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。

学修支援等

(概要)  
 学科担当制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。またクラス担当の担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
86人 (100%)	0人 (0%)	83人 (96.5%)	3人 (3.5%)

(主な就職、業界等)  
 フィットネスジム・トレーニングジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売

(就職指導内容)  
 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導  
 ・リクルースタイルの指導  
 ・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成  
 ・社会人の基本である「電話」指導  
 ・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる  
 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導  
 ・一人一人の希望を把握する「個人面談」  
 ・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」  
 ・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」  
 ・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」  
 ・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施

(主な学修成果（資格・検定等）)  
 ・（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者  
 ・NPO 法人日本トレーニング指導者協会 JATI 認定トレーニング指導者  
 ・一般社団法人日本フィットネス産業協会 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級  
 ・専門士

(備考) (任意記載事項)  
 2020年度より健康スポーツ科⇒スポーツインストラクター科へ名所変更  
 1年生：スポーツインストラクター科 2年生：健康スポーツ科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
206 人	17 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養 関係		社会体育専門 課程	アスレティック トレーナー科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位時間/単位	110 単位	5 単位	11 単位	0 単位	41 単位
		167 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		97 人	0 人	11 の内数人	8 の内数人	19 の内数 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。	
<目指すべき人材像> 【アスレティックトレーナー科】 アスレティックトレーニング学の知識を有し、アスレティックトレーナーとしてスポーツ・医療・健康・教育現場、すべての分野でプロフェッショナルに活躍できる。	

学修支援等 (概要) 学科担当制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。またクラス担当の担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	3人 ( 11.1%)	22人 ( 81.5%)	2人 ( 7.4%)
(主な就職、業界等) フィットネスジム・トレーニングジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売			
(就職指導内容) 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 ・リクルースタイルの指導 ・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成 ・社会人の基本である「電話」指導 ・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 ・一人一人の希望を把握する「個人面談」 ・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」 ・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」 ・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」 ・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・（公財）日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー ・（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者 ・NPO 法人日本トレーニング指導者協会 JATI 認定トレーニング指導者 ・一般社団法人日本フィットネス産業協会 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級 ・専門士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	8人	7.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養 関係		社会体育専門 課程	スポーツ トレーナー科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間 / 単位	127 単位	6 単位	12 単位	0 単位	52 単位
		197 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
400 人	405 人	5 人	13 の内数人	15 の内数人	28 の内数 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。 作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、 2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を 総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、 それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目と みなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の 認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 【スポーツトレーナー科】 トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、 及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・ 目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。
学修支援等
(概要) 学科担当制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に 状況の確認を行う。またクラス担当の担任のみならず、カウンセリングルームの紹介 など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
138人 (100%)	9人 ( 6.5%)	110人 ( 79.7%)	19人 ( 13.8%)
（主な就職、業界等） フィットネスジム・トレーニングジム・スタジオ・各スポーツスクール・リラクゼーション・福祉施設・スポーツメーカー・スポーツ用品販売			
（就職指導内容） 社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルートスタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> 業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> <li>・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施</li> </ul>			
（主な学修成果（資格・検定等）） <ul style="list-style-type: none"> <li>・（公財）日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー</li> <li>・（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者</li> <li>・NPO 法人日本トレーニング指導者協会 JATI 認定トレーニング指導者</li> <li>・一般社団法人日本フィットネス産業協会 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級</li> <li>・専門士</li> </ul>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
355人	37人	10.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		社会体育専門課程	スポーツ保育科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位時間 / 単位	75 単位	10 単位	16 単位	0 単位	12 単位
		123 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	50 人	0 人	3 の内数人	14 の内数人	17 の内数人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。  <目指すべき人材像> 【スポーツ保育科】 幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。
学修支援等
(概要) 学科担当制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。またクラス担当の担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	0 人 ( 0%)	17 人 ( 89.5%)	2 人 ( 10.5%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>保育園・幼稚園・幼児体育指導員・各スポーツスクール</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>社会人基礎と即戦力になるスキルを身につける就職指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルースタイルの指導</li> <li>・「履歴書の添削」で伝わる履歴書を作成</li> <li>・社会人の基本である「電話」指導</li> <li>・「現場実習」でスキルを磨き即戦力になる</li> </ul> <p>業界研究や個人面談で個人に合わせた就職指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の希望を把握する「個人面談」</li> <li>・最新の業界の動向や求人情報を知る「業界研究」</li> <li>・三幸学園生のために開催される「就職ガイダンス」</li> <li>・実際の就職活動を本格的に練習できる「模擬面接」</li> <li>・担任とエリア別就職担当による「ダブルフォローアップ」実施</li> </ul>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省 幼稚園教諭二種免許状</li> <li>・厚生労働省 保育士</li> <li>・厚生労働省 社会福祉主事任用資格</li> <li>・専門士</li> </ul>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	3人	5.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更・精神的理由や経済的理由による就学継続困難等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>定期的な担任との個人面談や必要に応じて保護者を交えた面談にて修学上の不安の相談を受け付けている。精神的に不安定な生徒に対してはスクールカウンセラーを案内しメンタル面をサポート。経済的な理由で悩んでいる生徒には奨学金を含む経済的支援の案内を実施。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士				
文化・教養	社会体育専門課程	スポーツビジネス科	○					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	62 単位時間 / 単位	111 単位	8 単位	4 単位	0 単位	4 単位	127 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80 人	44 人	0 人	2 の内数人	4 の内数人	6 の内数人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 【スポーツビジネス科】 あらゆるスポーツの特性や、スポーツ業界に関わる幅広い知識を有し、社会や消費者が求める商品の開発や提案ができる。また、スポーツを通じて健康や感動を提供するためのイベントの企画や運営ができる。
学修支援等
（概要） 学科担当制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。またクラス担当の担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)

(主な就職、業界等)
(就職指導内容)
(主な学修成果(資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) 2020年度新設学科のため実績無し

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
スポーツ インストラクター科	100,000円	800,000円	822,750円	選択授業により金額は変動します。(記載は2020年度入学生実績の最高額)
アスレティック トレーナー科	100,000円	800,000円	470,000円	
スポーツ トレーナー科	100,000円	800,000円	530,000円	選択授業により金額は変動します。(記載は2020年度入学生実績の最高額)
スポーツ保育科	100,000円	750,000円	592,000円	
スポーツビジネス科	100,000円	800,000円	403,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/sports/28_tokyo-sports.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/sports/28_tokyo-sports.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
スポーツマッサージ 社員	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	関連業界関係者・卒業生
学生寮運営企業 部長	令和2年4月1日～令 和3年3月31日	企業
町内会 会長	令和2年4月1日～令 和3年3月31日	地域住民
高等学校 教頭	令和2年4月1日～令 和3年3月31日	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/sports/28_tokyo-sports.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/sports/28_tokyo-sports.pdf</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/</a>
--